

# 労いと叱咤激励 ありがとうございました 南労会闘争報告集会



## 集会の成功に感謝

とができました。

和解成立から四ヶ月があわただしく過ぎた。七月十三日、正午から南労会闘争勝利報告集会を開催しました。

二六〇名を超える皆さんが港区民ホールに駆けつけて下さり盛大な祝賀会となりました。参加者の皆さんにささやかな記念品と南労会闘争報告集をお届けするこ



上) 受付風景

中) 遺影

下) 立派な横断幕と玉置委員長挨拶

この日にもけて、港合の皆さん、地ビールを作っている田中機械支部の仲間、NPOみなと合同ケンアセンターの皆さん、その他関係組合員の皆さんに大変なご協力を頂きま

だいた「地域の仲間に支えられて22年 7/13 南労会闘争勝利報告集会」の立派な横断幕。会場前方には赤旗に包まれた台の上に、故人となつた大和田委員長、辻岡闘争委員長の遺影。本来、居る

全国金属機械労働組合 港合同  
大阪市港区南市岡3-6-  
TEL 06-65803-4855  
FAX 06-65803-4600

した。ありがとうございました。  
演壇正面には全日建連  
帶ユニオンに作っていた  
ました。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

べき港合同の指導部が三  
人もこのような形での参  
加になってしまったこと  
が南労会闘争の困難に満  
ちた時間の長さを物語つ  
ていました。

から橋口さん、被解雇者  
から大野さんがそれぞれ  
の立場から争議をふり返  
り御礼を述べました。

故大和田委員長をはじ  
め港合同の言葉に尽くせ  
ぬ絶大な指導と支援なく  
して二十二年を闘いぬく

ことはできなかつたし、  
それを包み支えた南大阪  
委員長中村さん。

第一部の冒頭は港合同  
を代表して田中機械支部  
委員長玉置さん

挨拶。港合同の

総力をあげた南  
労会闘争への支  
援に心からの御  
礼を述べました。

南労会支部から  
は小松委員長代  
行、在職組合員



最上) 登壇した南労会支部  
上) 和田さんから花束贈呈  
中) 22年を共にして下さった中道先生  
下) 発言に聞き入るご参加の皆さん

#### 花束贈呈と弁護士報告

国鉄臨職解雇撤回闘争

も東京から駆けつけ南労  
会闘争の感想と改憲攻撃

夫弁護士（行政訴訟担当）

自らも学びながら闘つて  
きたこと等が語られまし  
た。労働法学者の佐藤昭

いた最深の力でした。そ  
して今後は、南労会にお  
いてもNPOのみなと合同  
ケアセンターにおいても、  
より困難な課題と取り組  
んでいく必要があります。

続いて中道弁護士から  
南労会の攻撃の悪質さ、  
争議の経験と教訓を活か  
して次のステップへと進  
む決意が語されました。

の当該・和田弘子さんか  
ら花束贈呈が行われ、会  
場全体で勝利解決を喜び  
確認しあいました。

#### 次の闘いへのステップ

集会の司会は港合同副

委員長玉置さん。

ぬ絶大な指導と支援なく  
して二十二年を闘いぬく

ことはできなかつたし、  
それを包み支えた南大阪  
委員長中村さん。

自らも学びながら闘つて  
きたこと等が語られまし  
た。労働法学者の佐藤昭

も東京から駆けつけ南労  
会闘争の感想と改憲攻撃

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

が切迫している状況について警鐘乱打されました。和解交渉に尽力して下さった元労働委員・要さんは残念ながら参加できず、司会がメッセージを代読しました。

### 多彩な顔ぶれ 飛入りも

第二部の冒頭、元港地協議長の有元幹明さんが

乾杯の音頭。心のこもつ

た労いと祝辞の中にも背筋がピンとのびる叱咤激励。そして力強い

関生太鼓の友情出演。

映されて「南労会闘争二十二年の軌跡」が上映されました。後の感想では「感動的だった」

「コピーを欲しい」「な



上) 力づよく会場にひびく関生太鼓  
左下) 吉岡力さんから贈られた「港合同」の缶バッヂを見せてニッコリの中村さん  
右下) 有元さんの乾杯の音頭

下) 田中機械でいつもコツコツ地ビールを作り提供してくれている大日君



上左) 辻岡さんのお連れ合い(看護師さん)。思わずマイクをにぎり「皆さ~ん、飲み過ぎ、吸い過ぎにはくれぐれも気をつけて長生きしてください！」  
上右) 満面の笑みの南労会支部組合員

田中機械の地ビールとご馳走に舌鼓をうちながら支援の代表の方々の発言と懇親が続きました。  
南大阪平和人権連帯会議・山元議長、関西生コン支部・高副委員長をはじめ多くの皆さん勝利に向けた意図について語りました。

我が闘争という気持ちで支援してきてくれた同じ争議当該ならでは、の真剣な意見が出され、深く心に残りました。



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



議事務局長の竹下さんは橋下市長からかけられた入れ墨アンケート「拒否」に対する処分撤回の闘いの決意も語られました。

新たな出会いもありま

した。関西生コン支部が連帯している韓国民主労総・全国建設労組の訪団の仲間の参加。



多大な  
ご支援と  
連帯に改  
めて御礼  
申し上げ  
ます。

最後はホールいっぱいに  
広がつてインターナショナル齊唱

南大阪平和人権連帶会  
部さんは、選挙応援のため沖縄から到着したばかりの伊波さんを紹介し、山シロ候補の支援を訴えました（残念ながら落選……）。

また元衆議院議員の服部さんは、選挙応援のために伊波さんを紹介し、山シロ候補の支援を訴えました（残念ながら落選……）。

参院選挙の結果はございました。安倍政権の攻撃は予想どおりですが、ひるまず搖るがず執念と確信をもって闘いつづけ

参院選挙の結果はございました。

これからもよろしくお願いします。

二十二年に及ぶ闘いの勝利報告集会という、歴史的にも貴重な場に参加できることを、大変光栄に思います。印象的だったことは、参加者二六〇名というその規模もさることながら、本当に幅広くそして多くの方々がこの南労会闘争を支えてきて下さり、この場においてともに勝利を祝われて

いるということでした。

N支部

### 南労会闘争勝利報告集会に参加して

NPOのみなと合同ケアセンター H

二十二年に及ぶ闘いの勝利報告集会という、歴史的にも貴重な場に参加できることを、大変光栄に思います。印象的だったことは、参加者二六〇名というその規模もさることながら、本当に幅広くそして多くの方々がこの南労会闘争を支えてきて下さり、この場においてともに勝利を祝われて

いるということでした。

私はNPOのみなと合同ケアセンターで働いて二年になりますが、改めて

私はNPOのみなと合同ケアセンターで働いて二年になりますが、改めて

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

このケアセンターにかけられた願いの深さを受けとめました。昨今この介護事業をとりまく状況の厳しさの中で、事業所の運営を維持していくという課題が待ち受けており、当該の方たちには息をつく間もないことですが、私自身にできることがあります。張って、ともにケアセンターを守っていきたいと思います。

### 南労会支部 介護事業へのご協力を訴えます

2013年3月11日、港合同と南労会支部は歴史的な日を迎えました。22年間に及んだ長期の闘いが解決をしました。7月13日には闘争勝利報告集会が多くの参加者の下で盛大に行なわれました。

振り返れば南労会支部は、NPOみなとの介護事業部門として、田中機械支部の協力を得て、構内にケアセンターを設立し、被解雇者の資格を最大限活用し、個々の能力を有効に生かし、ディサービス、訪問介護サービスを行ないながら、闘争と事業を両立させました。

このような基盤があったから困難な闘いをも乗り切ってこれたものと思います。争議解決をした今、介護事業に関わる組合員、及びスタッフの安定した生活基盤の確立とNPOみなとの発展が求められています。介護問題は、性別に関係なく、一定の年齢に達すれば、介護する側と介護される側を体験し、人生の中でも、心労、気苦労を一度に経験するという期間に位置づけられます。介護は大変な労力を必要とします。港合同をはじめ多くの皆様の家族や、親戚、友人、知人で、介護を必要としている方が居られましたら是非当組合にご紹介いただけませんでしょうか？

NPOみなと合同ケアセンター事業は次の通りです。

▽ディサービス・・・自宅まで送迎し、昼食、娯楽、入浴等で過ごします

NPOみなと合同ケアセンターの特徴は、源泉かけ流しの温泉に入ることができます。

▽訪問介護・・・・買い物、掃除、洗濯、食事介助、医者への付き添い等、

#### 《 介護が必要になったら シリーズ 1》

① 申請 ② 認定調査 ③ 主治医意見書 ④ 介護認定審査会⑤ 要介護・要支援認定 ⑥ ケアプランの作成 ⑦ サービスの利用・・・・認定の有効期間は、原則6か月〔更新の場合は12か月〕です。ただし、心身の状態によって24か月まで延長、3か月まで短縮される場合があります。引き続きサービスを利用する場合は、有効期間満了日の60日前から更新申請ができます。

なお、心身の状態が変化した場合、残りの有効期間にかかわらず、いつでも状態の区分の変更申請ができます。

☆初回申請の時点から私たちが相談・代行を行ないます。

☆連絡先 NPOみなと合同ケアセンター06-6583-4880 (石原・大野)

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！